大規模運用事例

Hinemos

株式会社NTTデータ
ビジネス・ソリューション事業本部
データセンタ＆クラウドサービス事業部様

NTTデータ様の大規模データセンタ※でHinemosを全面採用。3,000台を超える物理機器・仮想マシンをHinemosで管理。

Hinemos採用の決め手は、

- OSSであるため、大規模環境でも低コスト
- 大規模環境で多段構成を取り、影響を局所化
- 全機能をAPI経由で呼び出せるため、連携が容易

※三鷹データセンタ(ACORE)/大手町データセンタ(EXFORT)/品川データセンタ/堂島データセンタ

国内トップ規模のデータセンタ事業者として

NTTデータ データセンタ＆クラウドサービス事業部様が提供するデータセンタサービスは、日本全国16箇所、床面積約64万㎡の自社ビルにより展開されるデータセンタサービスです。

データセンタを利用する顧客はシステムの正常性を確認するために監視サービスを利用可能です。監視サービスはHinemosを全面採用しており、8年間にわたる運用実績があります。

OSSであるため、大規模環境でも低コスト

HinemosはOSSであるため、ライセンス費用が不要であり、保守費用だけで済むため、費用を低く抑えることが可能です。また、一般的な運用管理ソフトウェアは、大規模環境になると費用が大きく膨れるという傾向がありますが、Hinemosはそのような体系となっておらず、大幅なコストダウンが実現できました。

櫻井氏もこのように振り返ります。「当初はここまでの大規模案件ではなかったため、どの運用管理ソフトウェアを選択しても、大きな差が出なかった。しかし将来的に大規模化することが想定されていたため、運用管理ソフトウェアの将来の費用については検討を重ねた。結果としてHinemosを選択したのは正解だったと考えている。」

株式会社NTTデータ
ビジネスソリューション事業本部
データセンタ&クラウドサービス事業部
課長
櫻井義晴 氏

大規模環境で多段構成を取り、影響を局所化

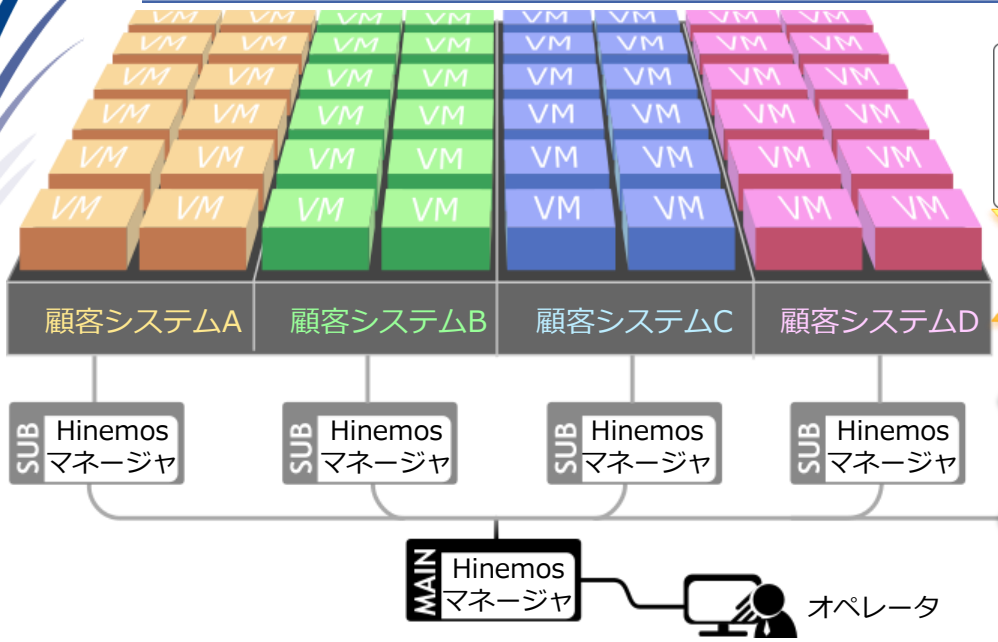
データセンタ＆クラウドサービス事業部では100以上の顧客に監視サービスを提供しており、合計で3,000以上の物理機器・仮想マシンに対して監視をしています。監視サービスを提供するにあたり、設計面で一番考慮しなければならない点は、顧客ごとの監視サーバを独立した設計にすることでした。監視サービスは、例えば、メッセージラッシュなどがあると、監視サーバのリソースが高騰してしまい、他の機能に影響する可能性があります。場合によっては、A顧客で問題が発生すると、正常に監視ができていたB顧客に影響が発生する可能性があります。この可能性をできるだけゼロにする必要がありました。

そこで、データセンタ＆クラウドサービス事業部ではHinemosマネージャ(子マネージャ)を顧客ごとに構築し、それらを束ねるHinemosマネージャ(親マネージャ)を用意する多段構成の設計となっています。（リーフレット裏の図を参照）それぞれの子マネージャは他の子マネージャに影響を与えないため、特定の顧客の監視が他の顧客に影響を与えない設計となっています。　「多段構成における、子マネージャと親マネージャの連携は一般的なプロトコルなので、子マネージャと親マネージャのバージョンを同一にする必要がなく、Hinemos以外の別プロダクトにすることもでき、柔軟な構成を取ることができた。」と秋野氏は語ります。

株式会社NTTデータ
ビジネスソリューション事業本部
データセンタ&クラウドサービス事業部
主任
秋野　望 氏

★キーとなるHinemos製品やサービス★
・Hinemosクラウド仮想化機能
・Hinemos基本機能（監視・性能）

Hinemos



amazon web services | Partner Network
PREMIER CONSULTING PARTNER

「2017年AWSプレミアコンサルティングパートナー」認定取得

物理機器・仮想マシン数
3,000以上！

顧客システム数
100以上！

仮想化やクラウドの実績が豊富

HinemosはVMwareなどの仮想化ソフトウェアには2009年から対応しました。アマゾン ウェブ サービス（以下、AWS)などのクラウドには2013年から対応し、運用管理ソフトウェアでは、新しい技術にいち早く対応するプロダクトとなっております。仮想化基盤やクラウドを提供しているデータセンタ&クラウドサービス事業部では、それらの技術へ対応するために新たなソフトウェアを導入する必要がなく、Hinemosワンパッケージで迅速に対応することができました。

全機能をAPI経由で呼び出し可能、連携が容易

HinemosはGUIのクライアントからの操作は全てAPI経由でも呼び出すことが可能です。JAVAのSDKやコマンドラインで呼び出す手段も提供されており、他のプロダクトとの連携が容易な作りとなっています。

「監視サービスを一時的に停止する運用があります。GUIのクライアントだけであれば、停止と開始のタイミングに端末で作業をする必要がありますが、API呼び出しが可能であるため、運用作業のGUI操作を完全自動化しています。API経由で呼び出せるHinemosは連携が容易で使い勝手が良いと感じています。」と、荒邦氏は語ります。

株式会社NTTデータ
ビジネスソリューション事業本部
データセンタ&クラウドサービス事業部
主任
荒邦　友通 氏

今後の展開

中里氏は今後の展開について語りました。
「当事業部では今年度パブリッククラウド環境の監視運用サービス(マルチクラウド監視運用サービス)を開始しており、監視サービスの規模拡大に伴いサービス提供運用が複雑化しています。そのため運用をいかに効率的に実施するかは至上命題と言えます。
Hinemosの次のバージョンのHinemos Ver.6.0ではRunbook Automation（以降、RBA）に対応すると聞いておりRBAを利用して運用コストの大幅な削減を実現していきたいと思います。
また、HinemosはRBAのみならず監視やジョブ管理をより運用しやすくするためにさまざまな有用な機能が提供されています。
これらの機能を最大限に活用し、大規模クラウド環境において付加価値のあるマネージドサービスを今後提供していく予定です。」

株式会社NTTデータ
ビジネスソリューション事業本部
データセンタ&クラウドサービス事業部
課長代理
中里　祥治 氏

お問い合わせ先
NTTデータ先端技術株式会社　ソリューション事業部

[Hinemosポータルサイト]
http://www.hinemos.info/

※本資料で紹介しております製品・内容についてのお問い合わせは上記にて承っております。掲載団体への直接のお問い合わせはご遠慮願います。
「Hinemos」はNTTデータの登録商標です。その他商品名、会社名、団体名は、各社の商標または登録商標です。

2018年03月版

注釈：
・アマゾン ウェブ サービス、AWS、Amazon Web Servicesは、米国その他の諸国における、Amazon.com, Inc.またはその関連会社の商標です。

・AWSプレミアコンサルティングパートナーティアとは、APNコンサルティングパートナーの中でも世界トップレベルであり、APNの中でも、AWSを利用した業務に一定以上の業績を上げ、豊富な実績および多数の認定済み技術コンサルタントを有していると認定されたパートナーです。